佐世保市内経営動向調査および付帯調査報告

2026(令和8)年4～6月期

＜佐世保市内経営動向調査の概要＞

○調査対象期間　2026(令和8)年4～6月期（四半期ごとに実施）
○調査実施時期　2026(令和8)年7月
○調査対象企業　佐世保市内の企業1,739社（有効回答数338社(回収率19.4%)）
　　建設業83/424社(19.6%) 製造業61/163社(37.4%) 卸･小売業64/324社(19.8%) サービス業130/828社(15.7%)
○調査内容
　建設業、製造業、卸･小売業、サービス業を営む企業に対して佐世保の景況感、業界の景況感、前年同期(2025年4～6月)比
　売上動向及び採算動向を尋ね、増加･好転及び減少･悪化で回答いただき、それをDI値として集計する。
　DI値＝(増加･好転などの回答割合)－(減少･悪化などの回答割合)

※DI値･･･Diffusion Index(ディフュージョンインデックス:景況判断指数)とは、業況･売上･採算などの各項目についての判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気･弱気などの景況感の相対的な広がりを意味する。(日本商工会議所)

＜付帯調査の概要＞

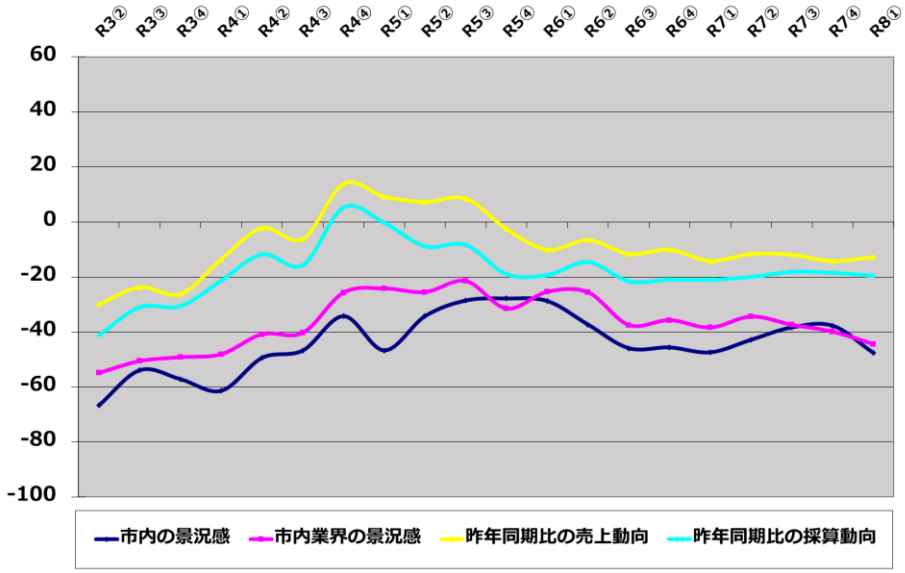
市内企業における今後概ね10年以内の設備投資動向について、付帯調査として実施しました。

佐世保商工会議所
The Sasebo Chamber of Commerce and Industry

直近1年間の全業種合算DIの推移

	2025 (令和7)年度				2026 (令和8) 年度
	1Q (4-6月)	2Q (7-9月)	3Q (10-12月)	4Q (1-3月)	1Q (4-6月)
佐世保の景況感	-47.4	-42.8	-38.3	-37.7	↘ -47.6
市内業界の景況感	-38.4	-34.4	-37.4	-39.9	↘ -44.4
昨年同期比の売上動向	-14.2	-11.6	-11.9	-14.2	↗ -12.7
昨年同期比の採算動向	-20.9	-19.9	-18.1	-18.4	↘ -19.5

過去5年間の全業種合算DIの推移



2026（令和8）年度　第1四半期（2026年4～6月）

原材料費や燃料費の高止まりに加え、人手不足の深刻化や人件費上昇が全業種の経営を圧迫しており、景況感は厳しい状況が続いている。全業種合計のDI値では、売上動向が前期比1.5ポイントと微増し下げ止まりの動きが見られるものの、佐世保の景況感、市内業界の景況感、採算動向はいずれも前回より悪化した。

（各業種別の前回調査との比較及び概況）

＜建設業＞全指標において前回より大幅に悪化した。特に売上動向DIは▲25.3（前期比13.3ポイント悪化）、業界景況感DIは▲45.8（同12.8ポイント悪化）と落ち込みが激しい。技術者の深刻な不足、資材費・人件費の高騰が受注環境と採算を二重に圧迫している。住宅関連工事については、資材価格高騰と金利上昇から、工事の延期や発注見送りが増加している。

＜製造業＞市内景況感や採算動向はやや悪化したものの、業界景況感DI▲31.1（前期比10.3ポイント改善）及び売上動向DI▲11.5（同2.3ポイント改善）は持ち直した。持ち直しの背景には、仕入コスト増に対する価格転嫁の進行が伺える。半導体関係は売上増加傾向が顕著。

＜卸・小売業＞市内景況感及び市内業界景況感は厳しい状況が続くものの、売上動向DI▲10.9（前期比16.0ポイント改善）、採算動向DI▲21.9%（同6.3ポイント改善）と回復した。物価高に伴う商品価格の値上げ・転嫁の浸透が売上を押し上げた一方で、経費増加に転嫁が追いつかず採算の改善は限定的。物価高による消費者の生活防衛意識（買い控え）が懸念されている。

＜サービス業＞佐世保の景況感DIは大きく低下したものの、売上動向DI（▲6.2）は全業種の中で最も良好で改善傾向を示した。中東情勢悪化による米艦船の長期出港等で、顧客に米海軍関係者が多い一部の事業所は売上減。食材費・燃料費・人件費等のコスト上昇や慢性的な人手不足が利益を圧迫している。

佐世保商工会議所
佐世保市内経営動向調査(2026.4～6)

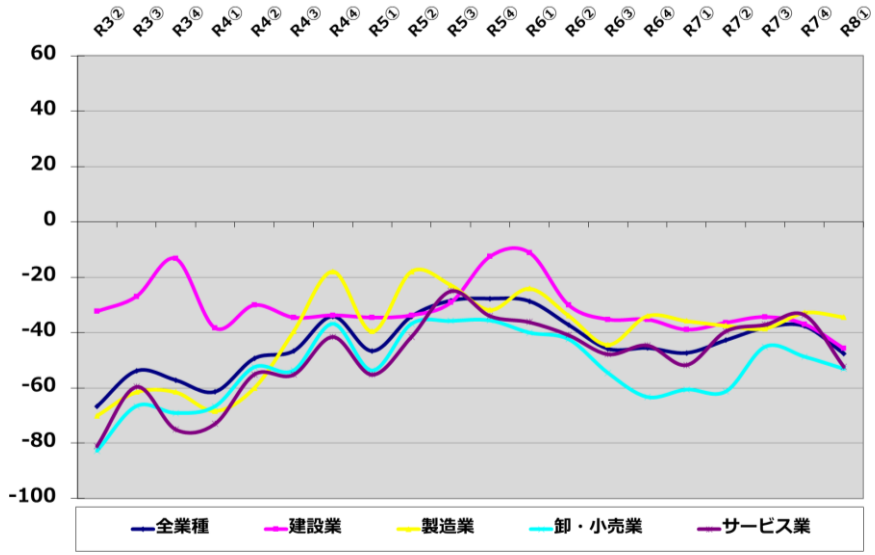
直近1年間の市内景況感DIの推移

	2025 (令和7)年度				2026 (令和8) 年度
	1Q (4-6月)	2Q (7-9月)	3Q (10-12月)	4Q (1-3月)	1Q (4-6月)
建設業	-39.0	-36.5	-34.4	-37.0 ↘	-45.8
製造業	-35.8	-37.5	-38.5	-32.8 ↘	-34.4
卸・小売業	-60.6	-61.3	-45.1	-48.7 ↘	-53.1
サービス業	-51.7	-39.5	-37.1	-33.6 ↘	-52.3

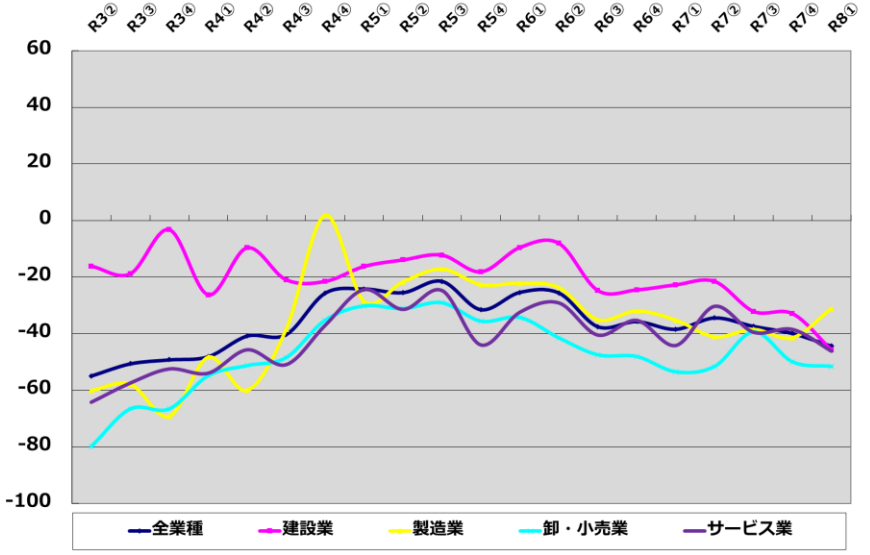
直近1年間の市内業界景況感DIの推移

	2025 (令和7)年度				2026 (令和8) 年度
	1Q (4-6月)	2Q (7-9月)	3Q (10-12月)	4Q (1-3月)	1Q (4-6月)
建設業	-22.8	-21.6	-32.2	-33.0 ↘	-45.8
製造業	-35.2	-41.4	-38.5	-41.4 ↗	-31.1
卸・小売業	-53.5	-51.6	-39.4	-50.0 ↘	-51.6
サービス業	-44.2	-30.3	-39.5	-38.5 ↘	-46.2

過去5年間の市内景況感DIの推移



過去5年間の市内業界景況感DIの推移



佐世保商工会議所
佐世保市内経営動向調査(2026.4~6)

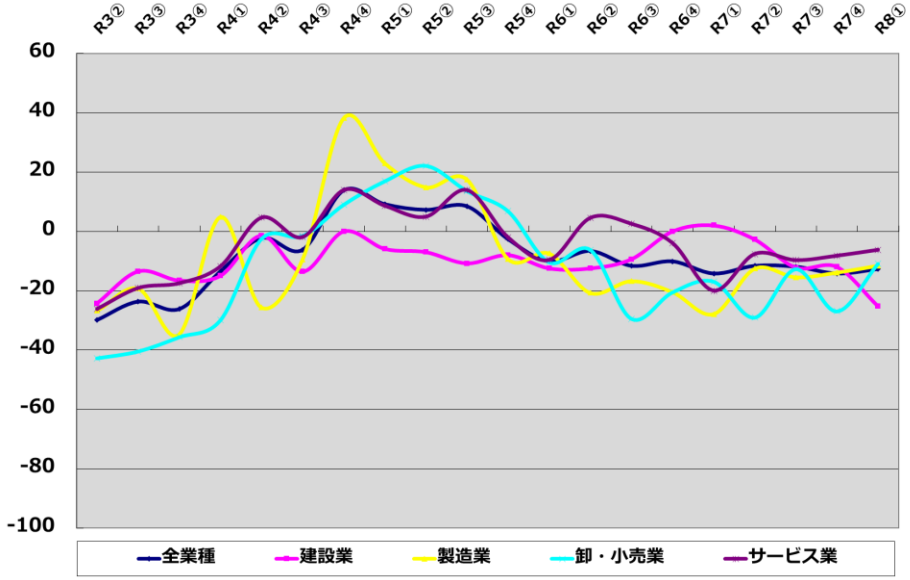
直近1年間の昨年同期比の売上動向DIの推移

	2025 (令和7)年度				2026 (令和8) 年度
	1Q (4-6月)	2Q (7-9月)	3Q (10-12月)	4Q (1-3月)	1Q (4-6月)
建設業	2.0	-2.7	-12.2	-12.0	-25.3
製造業	-27.8	-12.5	-15.4	-13.8	-11.5
卸・小売業	-16.9	-29.0	-12.7	-26.9	-10.9
サービス業	-20.0	-7.6	-9.7	-8.2	-6.2

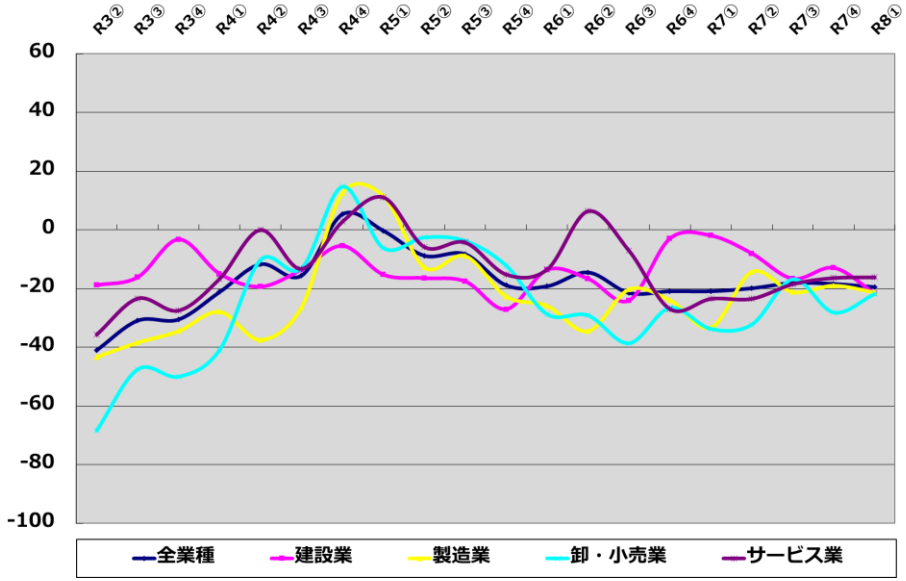
直近1年間の昨年同期比の採算動向DIの推移

	2025 (令和7)年度				2026 (令和8) 年度
	1Q (4-6月)	2Q (7-9月)	3Q (10-12月)	4Q (1-3月)	1Q (4-6月)
建設業	-2.0	-8.1	-16.7	-13.0	-21.7
製造業	-33.3	-14.3	-21.2	-19.0	-21.3
卸・小売業	-33.8	-32.3	-16.9	-28.2	-21.9
サービス業	-23.5	-23.5	-18.5	-16.4	-16.2

過去5年間の昨年同期比売上動向DIの推移



過去5年間の昨年同期比採算動向DIの推移



佐世保商工会議所
佐世保市内経営動向調査(2026.4~6)

調査協力企業からの自由意見

昨年同期と比較した売上の動向について	
増加、やや増加、変わらない	悪化、やや悪化
コスト増に伴う価格改定や取引単価の上昇により、販売数量が横ばいでも売上金額は維持・増加している（全業種） 公共工事の受注増や大型物件の落札、県外顧客向け売上の増加が売上増に繋がった。（建設業） 半導体関連の需要増や防衛予算増加による受注増、他県造船関連の物量増加が売上を押し上げた。一部は昨年の大幅な落ち込みの反動。（製造業） 仕入価格の上昇に合わせた販売価格の値上げや、スクラップ相場の高止まりが売上を押し上げた。（卸・小売業） 宿泊・飲食需要の回復や価格改定、増員による新規案件獲得等が売上増につながった。（サービス業）	継続的な物価高に伴う生活防衛意識の高まりや、顧客の高齢化・人口減少による需要減が響いている。（全業種） 施工人員不足による受注制限や、建築コスト高騰・金利上昇に伴う施工案件の延期・発注控えが見られる。（建設業） 主要取引先の業績不振や需要低迷に伴う発注控え、原材料の納入遅れが生産・売上を停滞させている。（製造業） 大型店舗の撤退や物価高による買い控え、住宅着工件数減に伴う顧客減少が影響している。（卸・小売業） 人手不足による稼働制限や、物価高騰に伴う消費者の生活消費・娯楽予算の縮小、米艦船の長期出港による顧客減少が影響。（サービス業）
昨年同期と比較した採算動向について	
好転、やや好転、変わらない	悪化、やや悪化
価格転嫁の進行や仕入コストの改善、生産性向上やコスト削減の徹底により収益性を確保した。（全業種） 繰越工事の完成や元請としての大型案件受注、人員体制強化による稼働率向上で利益率が改善した。（建設業） 防衛関連の受注増や生産性の向上、不採算取引の見直しや価格転嫁が好転に繋がった。（製造業） 仕入価格上昇分の販売価格への反映徹底や、粗利率の高い新商品・イベント販売の強化が功を奏した。（卸・小売業） 発注元に対する価格交渉・値上げの理解が進んだことや、新規契約の獲得が収益を支えた。（サービス業）	原材料費、燃料費、人件費等の経費高騰分を十分販売価格に上乗せできておらず採算が低下している。（全業種） 資材価格の高騰に加え、深刻な人手不足に伴う人件費・外注費の上昇が固定費負担を重くしている。（建設業） 原材料・燃料価格の高騰や人件費上昇に対し、価格転嫁が追いついていない。（製造業） 仕入単価の高騰や、最低賃金改定等に伴う人件費・社会保険料等の負担増が利益を圧迫している。（卸・小売業） 食材原価や燃料費・光熱費の高騰に加え、賃上げや人手不足に伴う募集費等の増加が利益を圧迫している。（サービス業）
経営上の課題	
人手不足および採用・人材確保・定着の困難（全業種） 原材料、資材、燃料、食材等の継続的なコスト高騰および価格転嫁の遅れ（全業種） 物価高や人口減少等に伴う需要・来客数の減少および受注不振（市場の冷え込み）（建設業、卸小売業、サービス業） 最低賃金の引上げや賃上げ等に伴う人件費増および社会保険料等の負担増（全業種）	

2026(令和8)年度　第1四半期(4～6月期)　全項目DI値まとめ

①佐世保の景況感について			
全体		DI値	▲ 47.6
1.大変良い	0	0.00%	0.0
2.良い	10	2.96%	3.0
3.普通	157	46.45%	46.4
4.悪い	149	44.08%	44.1
5.大変悪い	22	6.51%	6.5
建設業		DI値	▲ 45.8
1.大変良い	0	0.00%	0.0
2.良い	1	1.20%	1.2
3.普通	43	51.81%	51.8
4.悪い	32	38.55%	38.6
5.大変悪い	7	8.43%	8.4
製造業		DI値	▲ 34.4
1.大変良い	0	0.00%	0.0
2.良い	3	4.92%	4.9
3.普通	34	55.74%	55.7
4.悪い	22	36.07%	36.1
5.大変悪い	2	3.28%	3.3
卸・小売業		DI値	▲ 53.1
1.大変良い	0	0.00%	0.0
2.良い	3	4.69%	4.7
3.普通	24	37.50%	37.5
4.悪い	31	48.44%	48.4
5.大変悪い	6	9.38%	9.4
サービス業		DI値	▲ 52.3
1.大変良い	0	0.00%	0.0
2.良い	3	2.31%	2.3
3.普通	56	43.08%	43.1
4.悪い	64	49.23%	49.2
5.大変悪い	7	5.38%	5.4

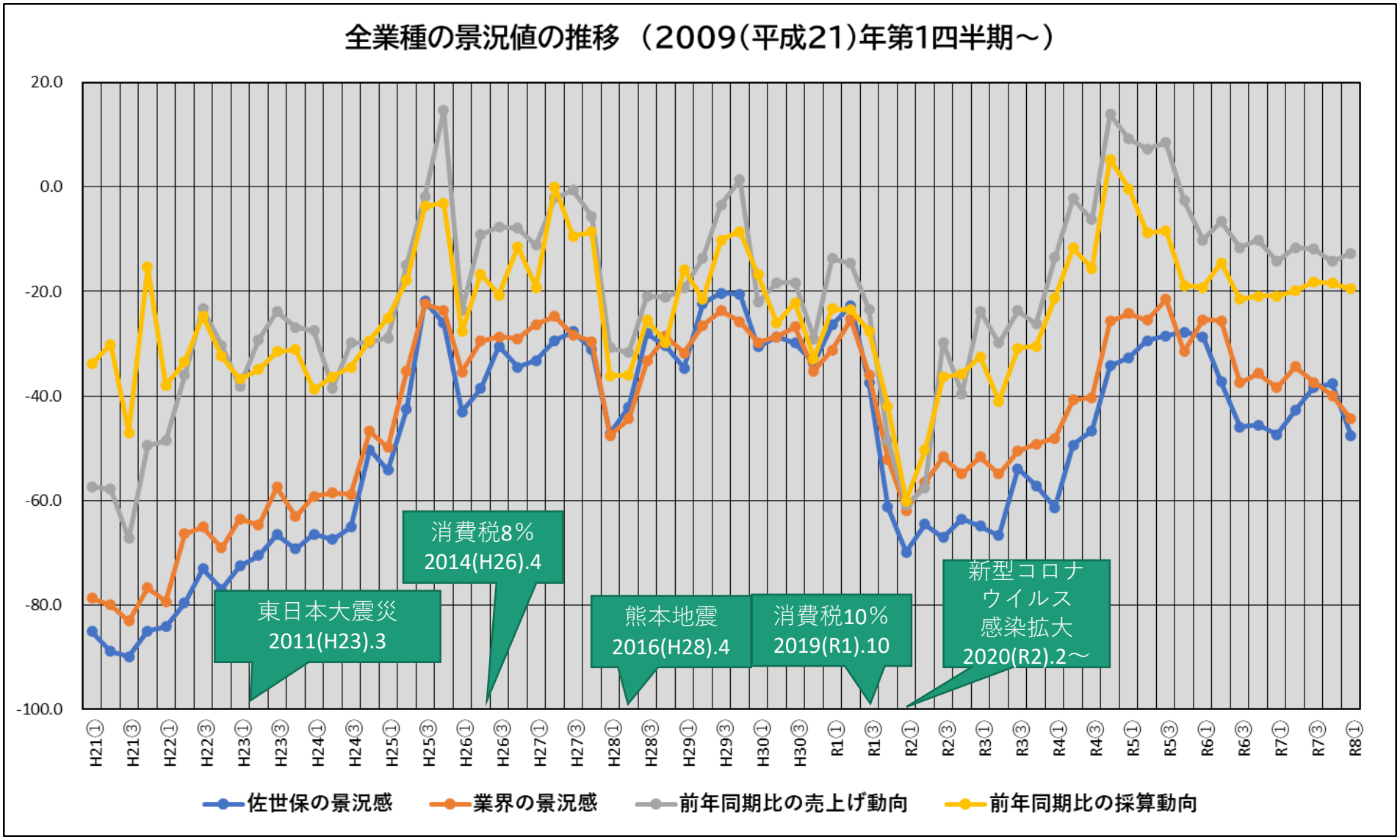
②市内業界の景況感			
全体		DI値	▲ 44.4
1.大変良い	1	0.30%	0.3
2.良い	17	5.03%	5.0
3.普通	152	44.97%	45.0
4.悪い	146	43.20%	43.2
5.大変悪い	22	6.51%	6.5
建設業		DI値	▲ 45.8
1.大変良い	0	0.00%	0.0
2.良い	3	3.61%	3.6
3.普通	39	46.99%	47.0
4.悪い	34	40.96%	41.0
5.大変悪い	7	8.43%	8.4
製造業		DI値	▲ 31.1
1.大変良い	1	1.64%	1.6
2.良い	8	13.11%	13.1
3.普通	24	39.34%	39.3
4.悪い	26	42.62%	42.6
5.大変悪い	2	3.28%	3.3
卸・小売業		DI値	▲ 51.6
1.大変良い	0	0.00%	0.0
2.良い	3	4.69%	4.7
3.普通	25	39.06%	39.1
4.悪い	30	46.88%	46.9
5.大変悪い	6	9.38%	9.4
サービス業		DI値	▲ 46.2
1.大変良い	0	0.00%	0.0
2.良い	3	2.31%	2.3
3.普通	64	49.23%	49.2
4.悪い	56	43.08%	43.1
5.大変悪い	7	5.38%	5.4

③昨年同期比の売上の動向は？			
全体		DI値	▲ 12.7
1.増加	16	4.73%	4.7
2.やや増加	77	22.78%	22.8
3.変わらない	109	32.25%	32.2
4.やや減少	80	23.67%	23.7
5.減少	56	16.57%	16.6
建設業		DI値	▲ 25.3
1.増加	4	4.82%	4.8
2.やや増加	14	16.87%	16.9
3.変わらない	26	31.33%	31.3
4.やや減少	21	25.30%	25.3
5.減少	18	21.69%	21.7
製造業		DI値	▲ 11.5
1.増加	5	8.20%	8.2
2.やや増加	14	22.95%	23.0
3.変わらない	16	26.23%	26.2
4.やや減少	20	32.79%	32.8
5.減少	6	9.84%	9.8
卸・小売業		DI値	▲ 10.9
1.増加	1	1.56%	1.6
2.やや増加	20	31.25%	31.3
3.変わらない	15	23.44%	23.4
4.やや減少	15	23.44%	23.4
5.減少	13	20.31%	20.3
サービス業		DI値	▲ 6.2
1.増加	6	4.62%	4.6
2.やや増加	29	22.31%	22.3
3.変わらない	52	40.00%	40.0
4.やや減少	24	18.46%	18.5
5.減少	19	14.62%	14.6

④昨年同期比の採算動向は？			
全体		DI値	▲ 19.5
1.好転	13	3.85%	3.8
2.やや好転	55	16.27%	16.3
3.変わらない	136	40.24%	40.2
4.やや悪化	92	27.22%	27.2
5.悪化	42	12.43%	12.4
建設業		DI値	▲ 21.7
1.好転	4	4.82%	4.8
2.やや好転	10	12.05%	12.0
3.変わらない	37	44.58%	44.6
4.やや悪化	17	20.48%	20.5
5.悪化	15	18.07%	18.1
製造業		DI値	▲ 21.3
1.好転	4	6.56%	6.6
2.やや好転	8	13.11%	13.1
3.変わらない	24	39.34%	39.3
4.やや悪化	23	37.70%	37.7
5.悪化	2	3.28%	3.3
卸・小売業		DI値	▲ 21.9
1.好転	1	1.56%	1.6
2.やや好転	14	21.88%	21.9
3.変わらない	20	31.25%	31.3
4.やや悪化	22	34.38%	34.4
5.悪化	7	10.94%	10.9
サービス業		DI値	▲ 16.2
1.好転	4	3.08%	3.1
2.やや好転	23	17.69%	17.7
3.変わらない	55	42.31%	42.3
4.やや悪化	30	23.08%	23.1
5.悪化	18	13.85%	13.8

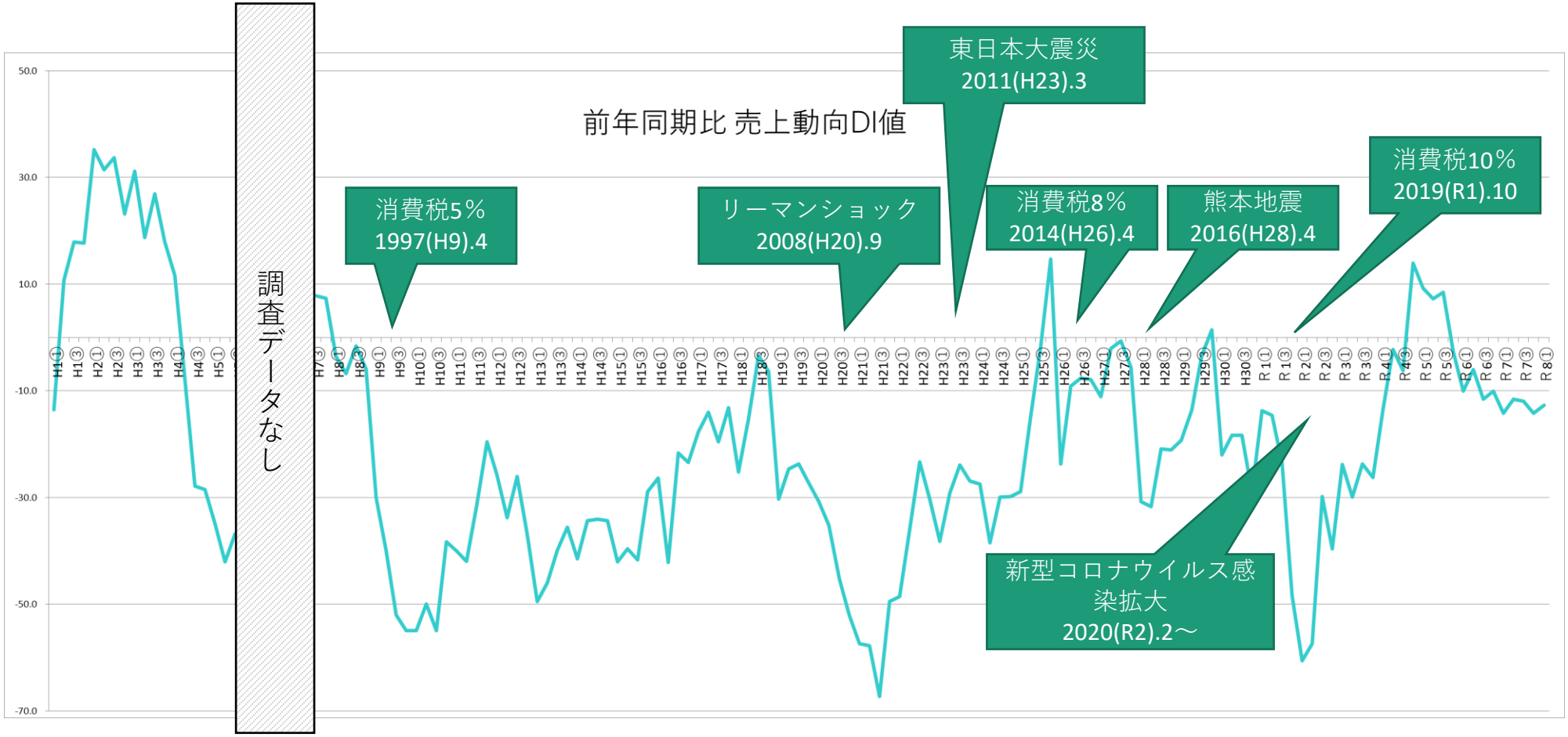
佐世保商工会議所
佐世保市内経営動向調査(2026.4～6)

2009(平成21)年度からの全業種における各種DI値の推移



佐世保商工会議所
佐世保市内経営動向調査(2026.4～6)

1989(平成元)年からの前年同期比売上動向DI値の推移

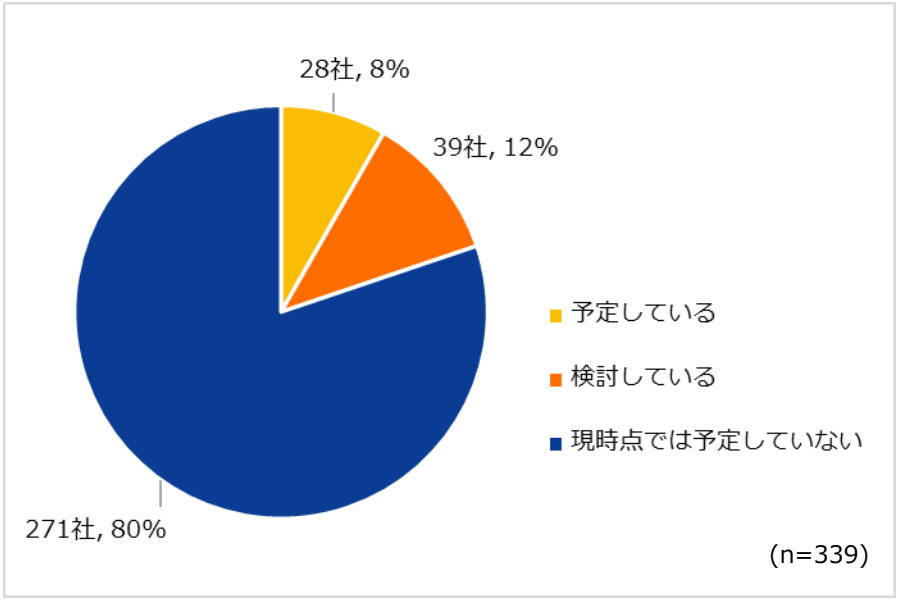


佐世保商工会議所
佐世保市内経営動向調査(2026.4～6)

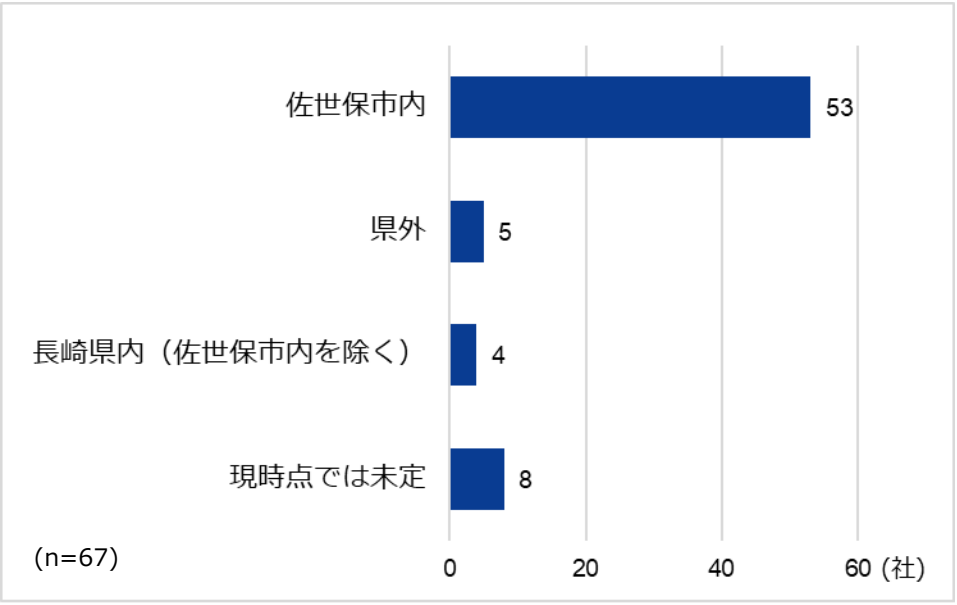
【付帯調査】投資動向に関する調査

市内企業における今後概ね10年以内の設備投資動向について、付帯調査として実施しました。
事業所等の新設・増設・移設について「予定している」(8.3%)、「検討している」(11.5%)を合わせ、全体の約2割(19.8%・67社)が投資に前向きな姿勢を示しました。
業種別ではサービス業(26.2%)や製造業(23.0%)で投資意欲が高く、予定地は「佐世保市内」が過半を占めています。予定施設は「店舗・販売拠点」や「事務所」、「製造施設」が多く、投資規模では1,000万円以下が最多(22社)である一方、1億円以上の大型投資を計画・検討する企業も10社見られました。

Q1.今後概ね10年以内の、事業所(工場・研究所・事務所等)の新設・増設・移設の予定



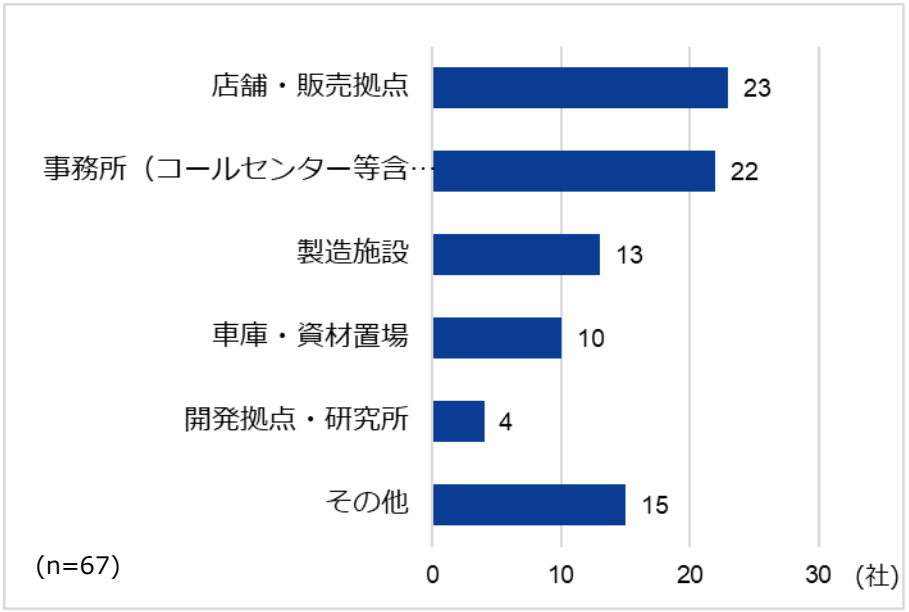
Q2. 事業所の新設・増設・移設の予定地(複数回答可)



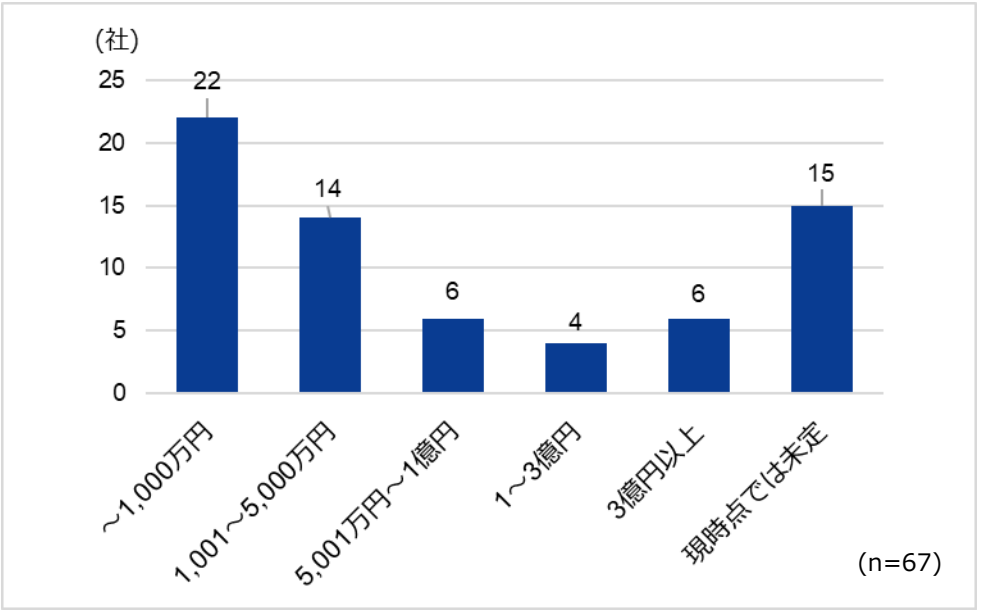
佐世保商工会議所
佐世保市内経営動向調査(2026.4~6)

【付帯調査】投資動向に関する調査

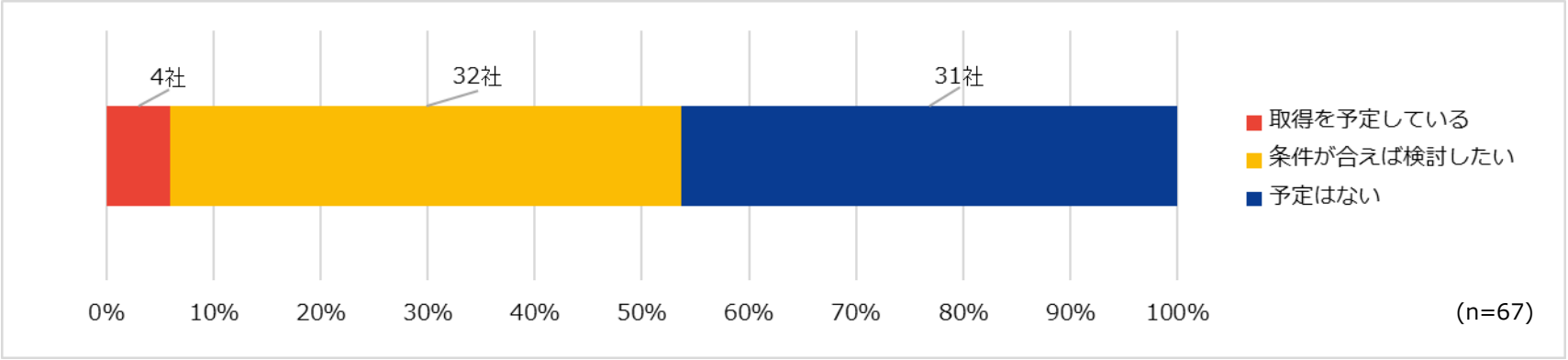
Q3. 新設･増設･移設を予定する施設の種類(複数回答可)



Q4. 設備投資額の規模



Q5. 事業予定地の取得について



佐世保商工会議所
佐世保市内経営動向調査(2026.4~6)